ATAPI DVD-ROM ドライブ

DVROM-16FB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- 本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  A:フロッピーディスクドライブ
  C:ハードディスクドライブ
- 本書では、本製品を「DVDドライブ」と表記しています。
- 本書では、Microsoft Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
- 本書では、Microsoft Windows 98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。
- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- DVD-ROM、CD-ROM、音楽CD、CD-R/RWを合わせて「メディア」と表記しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例： 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。
特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

強 制

電源ケーブルは、完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しなでください。

レーザー光が目に入ると、視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

各接続コネクタのチリ・ほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

DVD-ROM、CD-ROM、音楽CD、CD-R/RW（以後メディアと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- メディアの表面に手を触れないでください。
- 直射日光を当てないでください。
- ベンジン、シンナー等の薬品を使ってお手入れをしないでください。
- メディアの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。必ず、中心から外側へと向かって軽く拭き取ってください。
- メディアの表面を傷つけたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- ほこりなどにさらさないでください。
- メディアの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。

トレーに、メディア以外のものを載せないでください。

故障や火災の原因になります。

トレーに手を入れ、挟まないように注意してください。

けがの恐れがあります。

トレーを出したまま放置しないでください。

内部にほこりが入り込んで、故障の原因になります。

禁 止

ひび割れや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁 止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
　故障の原因となります。

・振動が発生するところ
　けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
　転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
　故障や変形の原因となります。

・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　故障や変形の原因となります。

・漏電、漏水の危険があるところ
　故障や感電の原因となります。

・ほこりの多いところ
　故障の原因となります。

禁 止

メディアを入れたまま移動しないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

強 制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等にほこりやたばこの煙などが付着し、メディアの再生が正常にできなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁 止

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁 止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

強 制

縦置きで使用する場合は、必ずトレーのツメでメディアを固定してください。

ツメで固定しないと、メディアが外れて、故障や破損の原因となります。

強 制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 ご使用になる前に

DVDドライブをご使用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● 多彩なフォーマット形式に対応
DVDドライブの対応するメディアは次のとおりです。

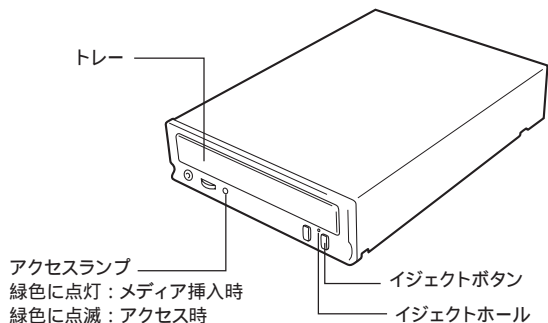
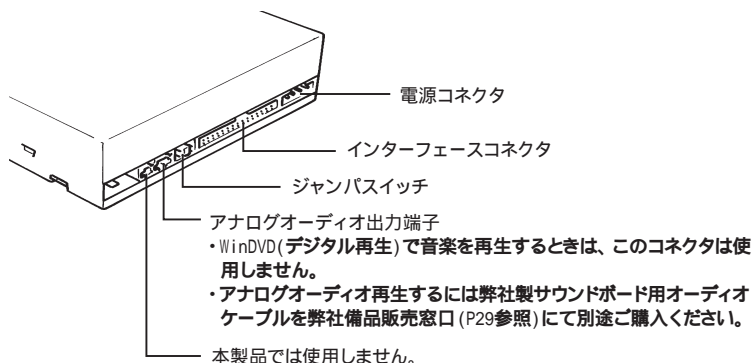
- ・DVD ... DVD-ROM(片面1層、片面2層、両面1層)
  DVD-VIDEO(片面1層、片面2層、両面1層)
  DVD-R(4.7GB)(*1)
- ・CD CD-ROM、CD-R/RW(*1)、
  音楽CD(CD-DA、CD-TEXT対応*2)
  CD Extra(CD TEXT対応*2)、
  Photo CD(*2)、Video CD

*1 書き込みはできません(本製品は読み出し専用です)。
*2 再生には、対応したソフトウェアが必要です。

● ソフトウェアDVDプレーヤ「WinDVD」付属
本製品には「WinDVD」が付属しています。
DVD-VIDEO、Video CD、MPEG2、MPEG1、音楽CD、MP3を再生できます。

縦置き(垂直)で設置したときは、8cmサイズのメディアは使用できません。

各部の名称

● 前面

● 背面

2 取り付け

DVD ドライブをパソコンに接続する手順を説明しています。

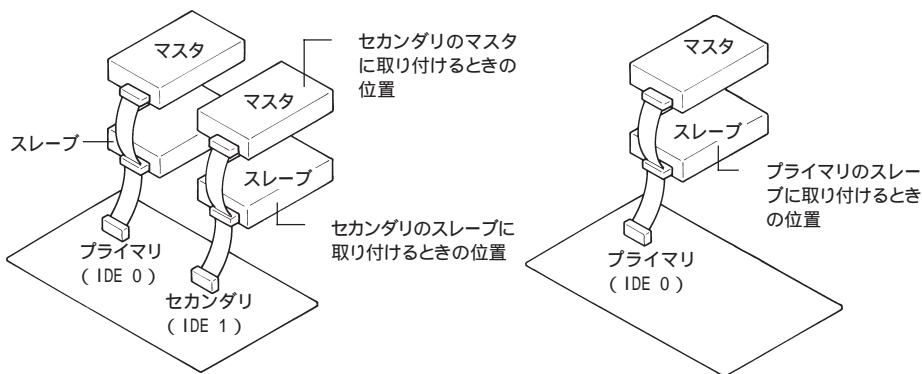
取り付けの前に

注意事項

- DVDドライブおよびパソコンは精密機器です。作業を始める前に、必ず巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」を参照してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定方法は、各機器のマニュアルを参照してください。
- 作業を始める前に、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクやMOディスク）にバックアップしてください。
- 作業をするときは、必ずパソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにしてください。
- パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
- 次の物を用意してください。
  - ・DVDドライブ本体および付属品
  - ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  - ・ドライバなどの工具類

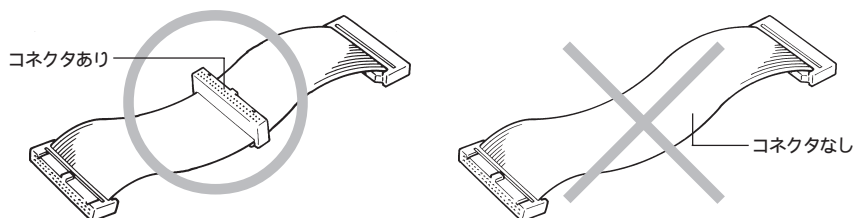
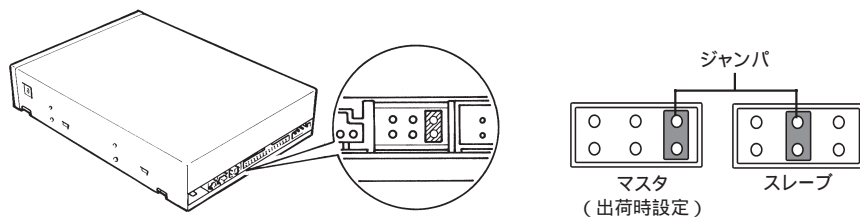
ジャンパスイッチの設定

取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。そのため、DVDドライブは下図①～③のいずれかの位置に取り付けます。

次のページへ続く

フラットケーブルの種類

DVD ドライブをスレーブとして接続する場合は、 下図①のような形状のフラットケーブルが必要です。

パソコン本体のフラットケーブルが下図②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、 弊社製 IDE 接続ケーブル DKV-AT100 （別売）を使用してください。

接続のしかたとジャンパスイッチの設定

※ **DOS上でDVDドライブを使用するとき（WindowsMe/98SE/98/95を再セットアップするときなど）は、必ずマスタとして接続してください。**

使用環境		プライマリ（IDE 0）		セカンダリ（IDE 1）		DVDドライブのジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	DVDドライブ	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台	■	○	ー	ー	スレーブ
		■	ー	○	ー	マスタ
2台	1台	■	○	■	ー	スレーブ
		■	■	○	ー	マスタ
		■	ー	■	○	スレーブ
3台	1台	■	■	■	○	スレーブ

「○」DVDドライブが接続されている　　■ **他の IDE 機器が接続されている**

「ー」IDE 機器は接続されていない

⚠注意
- **通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。DVDドライブ1台だけを接続して使用することはできません。**
- **セカンダリにDVDドライブ1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください（出荷時はマスタに設定されています）。**
- **DVDドライブはハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。DVDドライブとハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。**

WindowsNT4.0で使用する場合の制限事項

- 事前に、WindowsNT4.0の「Service Pack 4」以降を必ずインストールしてください。
  Service Packに関しては、マイクロソフト社までお問い合わせください。

- グラフィックボードのハードウェア動き補償はサポートしておりません。あらかじめご了承ください。

- 使用しているグラフィックボードのドライバによっては、ハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
  弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。

CyberTrio-NXを搭載したPC98-NXシリーズでの使用

CyberTrio-NXがインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、DMA転送の設定ができないことがあります。DMA転送の設定【P15】を行う前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

※ CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにインジケータが表示されます。

- CyberTrio-NXのモードの確認方法は、タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータの色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

- 再起動後もアドバンストモードになるように、CyberTrio-NXを設定を変更します。

① [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択します。アドバンストモードに切り替わります。

② [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX ｾｯﾄｱｯﾌﾟ]を選択します。

③ [CyberTrio-NXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されます。[ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択して[OK]をクリックします。
詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後やWindowsの設定が終了した後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

パソコンを使う人の利用するレベルに合わせてWindowsの操作範囲や、アクセスできるフォルダを限定するためのユーティリティです。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

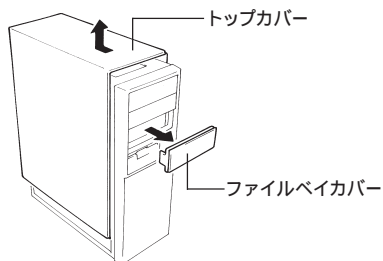
取り付け方法

取り付け例（タワー型）

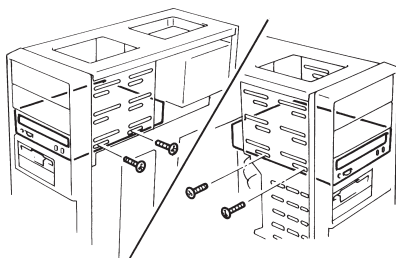
タワー型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

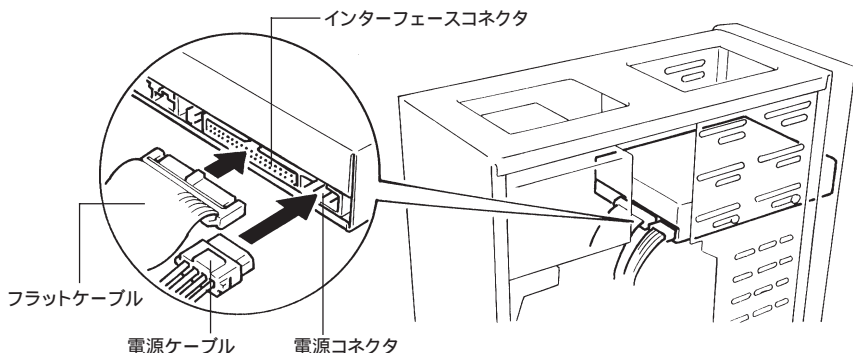
メモ　パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

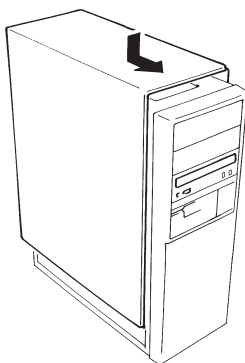
1　パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。

⚠注意　パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。

2　DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

3　DVDドライブをファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

⚠注意　ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

4　パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルをDVDドライブに接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-AT100を使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】

次のページへ続く

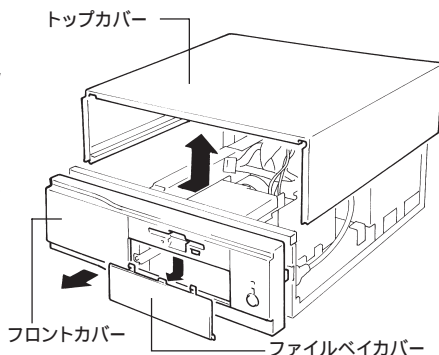
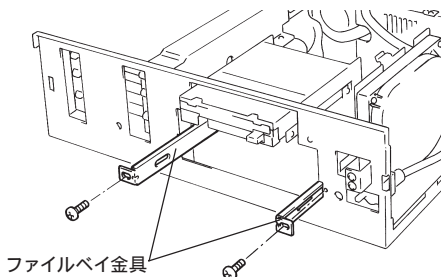
5 **パソコンのトップカバーを取り付け、ケーブル類や周辺機器を元どおり接続します。**

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

取り付け例（デスクトップ型）

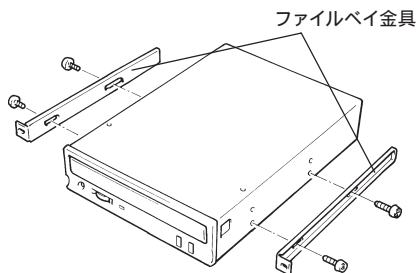
デスクトップ型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

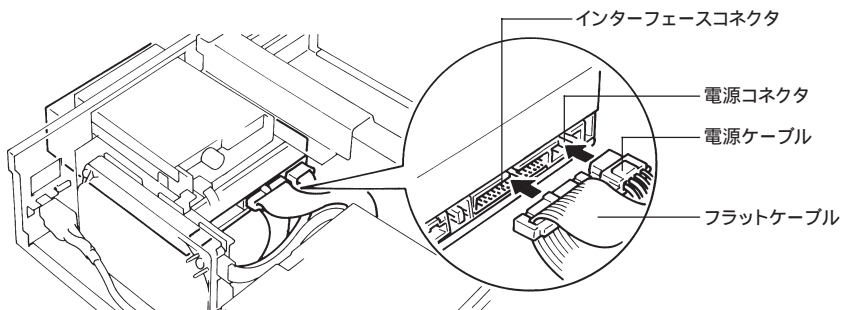
メモ パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

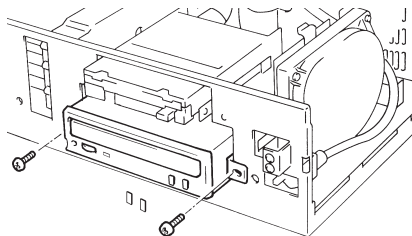
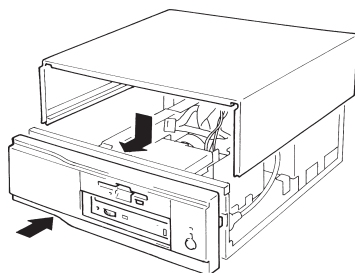
1 **パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。**

⚠注意 **パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。**

2 **ファイルベイ金具を固定しているネジを外し、ファイルベイ金具を引き出します。**

次のページへ続く

3 付属の取り付けネジ（4本）でDVDドライブにファイルベイ金具を取り付けます。

4 DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

5 DVDドライブをファイルベイに半分ほど挿入し、パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-AT100を使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】

6 DVDドライブを奥まで押し込み、手順 2 で外したネジで固定します。

⚠注意 ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

7 パソコンのフロントカバー、トップカバーを取り付け、ケーブル類と周辺機器を元どおり接続します。

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

WindowsXP/2000 の設定

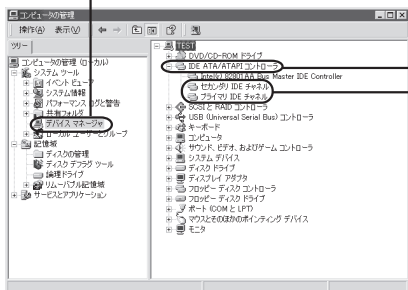
DVDドライブがDMA転送をするように設定します。

※ パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

1 **[マイ コンピュータ] アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします(WindowsXPでは、[マイコンピュータ]はスタートメニューの中にあります)。**

2 **メニューが表示されたら [管理] をクリックします。**

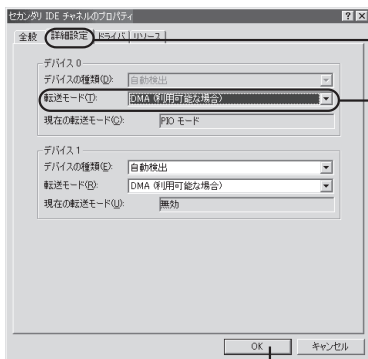
3

① [デバイス マネージャ] をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPIコントローラ] をダブルクリックします。

③ DVDドライブを接続しているチャネル（セカンダリまたはプライマリ）をダブルクリックします。

4

※画面はWindiws2000の例です。

① [詳細設定] タブをクリックします。

② [転送モード(T)] の ▼ をクリックし、[DMA(利用可能な場合)] を選択します。
初期状態では、[PIOモード] に設定されています。

※ **DVDドライブをマスタとして接続しているときは、[デバイス0] の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1] の設定を変更してください。**

③ [OK] をクリックします。

5 **メッセージに従ってシステムを再起動します。**

⚠注意 **パソコンの機種によっては、DVD-ROM、CD-ROMのデータが正しく読み込めないことがあります。その場合は、上記の [転送モード(T)] を [PIOモード] に設定してください。**

WindowsMe/98SE/98/95の設定

DVDドライブがDMA転送(＊)をするように設定します。

＊ CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作の前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。【P10「PC98-NXシリーズでの使用」】

DMA転送への設定変更手順は次のとおりです。

1 **デスクトップ画面の[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **メニューが表示されたら[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。**

3 **[ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されたら、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。**

4 **[CD-ROM]をダブルクリックします。**

5 **[DM166D DVD-ROM]をダブルクリックします。**

6 **[DM166D DVD-ROMのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されたら、[設定]タブをクリックします。**

7 **[□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。**
DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8 **[OK]をクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。**

［DMA］にチェックマーク（✓）を付けます。

⚠注意 パソコンの機種によっては、DVD-ROM、CD-ROMのデータが正しく読み込めないことがあります。その場合は、DMA転送を無効にしてください。
DMA転送は、上記の手順で[□DMA]のチェックマーク(✓)を外して[OK]をクリックすることで無効にできます。

WinDVD のインストールと操作方法

DVD-VIDEOやVideo CDを再生するためには、本製品付属の「WinDVD」をインストールする必要があります。

メモ WinDVDの詳しい使いかたは、WinDVDのヘルプファイルを参照してください。

必要なシステム環境

WinDVDでなめらかに(コマ落ちすることなく)動画を再生するためには、次の環境が必要です。

CPU ....PentiumII 350MHz以上

メモリ 32MB以上

グラフィックボード ....DirectX7およびハードウェアオーバーレイに対応したボード(*)

ハードディスク容量 10MB以上の空き容量

サウンドボード ....48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード(弊社製SDP-AU30など)

* Permedia2を搭載するグラフィックボード(弊社製WHP-PS8SLなど)には非対応です。
  WindowsNT4.0の場合、グラフィックボードのドライバによってはハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
  (弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。)

⚠注意 WinDVDのReadmeファイルに記載されているのは、必要最低限の環境です。なめらかに動画を再生するためには、上記の環境が必要です。

WindowsXP/Me/2000/98SE/98 へのインストール手順

※ 次の操作を行う前に、DVDドライブをパソコンに取り付けておいてください。【P11】

1 **付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。**

「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 **[WinDVDのインストール]を選択し、[開始] をクリックします。**

3 **[WinDVDセットアップへようこそ] 画面が表示されたら、[次へ (N)>] をクリックします。**

4 **[使用許諾契約] 画面が表示されたら、内容をよく読んで [はい (Y)] をクリックします。**

[いいえ(N)]をクリックした場合、WinDVDのインストールは中断されます。

5 **[ユーザの情報] 画面が表示されたら、名前・所属・シリアル番号を入力し、[次へ (N)>] をクリックします。**

シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

次のページへ続く

6 **[インストール先の選択]画面が表示されたら、インストールするフォルダを選択して[次へ(N)>]をクリックします。**

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

7 **[プログラムフォルダの選択]画面が表示されたら、WinDVDを登録するするフォルダを選択して[次へ(N)>]をクリックします。**

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

8 **[セットアップの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックします。**

ファイルのコピーが開始されます。

9 **[サードパーティーアプリケーション]画面が表示されたら、「Microsoft DirectX8」と「Microsoft HTML Help」にチェックがついているのを確認して、[次へ(N)]をクリックします。**

WindowsXPなど、DirectX8以降がインストールされているパソコンではこのメッセージは表示されません。

10 **「Direct X setup needs to restart your machine. Please OK to restart now.」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上でインストールは完了です。

Windows95へのインストール手順

※ 次の操作を行う前に、DVDドライブをパソコンに取り付けておいてください。【P11】

1 **付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。**

「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 **[WinDVDのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。**

3 **[ようこそ]画面が表示されたら、[次へ(N)>]をクリックします。**

4 **[製品ライセンス契約]画面が表示されたら、内容をよく読んで[はい(Y)]をクリックします。**

[いいえ(N)]をクリックした場合、WinDVDのインストールは中断されます。

5 [ユーザの情報] 画面が表示されたら、名前とシリアル番号を入力し、[次へ(N)>] をクリックします。

シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

6 [インストール先の選択] 画面が表示されたら、インストールするフォルダを選択して [次へ(N)>] をクリックします。

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

7 [セットアップ方法] 画面が表示されたら、[標準(T)] をクリックしてチェックマーク(•)を付け、[次へ(N)>] をクリックします。

8 [プログラムフォルダの選択] 画面が表示されたら、WinDVDを登録するするフォルダを選択して [次へ(N)>] をクリックします。

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

9 [セットアップの完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

10 DirectX7.0をインストールするかどうかを問い合わせるメッセージが表示されたら、[はい(Y)] をクリックします。

DirectX7以降がインストールされているパソコンではこのメッセージは表示されません。

11 「[OK] をクリックすると、コンピュータを再起動します。」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でインストールは完了です。

次のページへ続く

WindowsNT4.0へのインストール手順

※ WindowsNT4.0をお使いの方は次の手順で、付属の「WinDVD」をインストールしてください。

※ 次の操作を行う前に、DVDドライブをパソコンに取り付けておいてください。【P11】

1 「Windows95へのインストール手順」の手順1〜9【P17】に従って操作します。

2 Intel社製440シリーズチップセットを搭載したパソコンをお使い場合は、画面の指示に従って新しいドライバをインストールし、パソコンを再起動します。

⚠注意 Intel社製440シリーズ以外のチップセットを搭載したパソコンをお使いの場合、上記のドライバはインストールしないでください。インストールするとパソコンが起動しなくなります。

パソコンメーカまたはマザーボードメーカのインターネットホームページで新しいNT4IDEドライバを検索してインストールし、DMA転送を可能にしてください。DMA転送が可能になっていないと、DVDのパフォーマンスが大幅に損なわれます。

WinDVD の起動

[スタート]－[プログラム(P)]－[InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)]－[InterVideo WinDVD]と選択します。

地域（リージョン）コードの設定

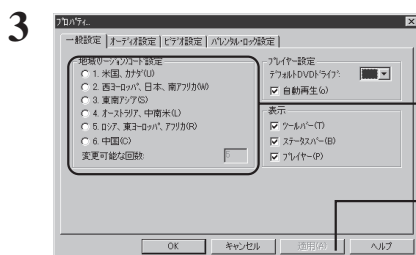
次の手順で、再生するDVD-VIDEOの地域(リージョン)コードに合わせて設定してください。

> DVDドライブは、出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていません。初めてWinDVDを使用するときは、必ず地域コードを設定してください。

メモ 地域(リージョン)コードは、DVD-VIDEOを再生できる地域を限定するためのものです。DVDドライブの地域コードとDVD-VIDEOの地域コードが合わないと再生できません。

1 WinDVDを起動します。【P20】

2 プレイヤー画面の (プロパティ)ボタンをクリックします。

3

① 再生するDVD-VIDEOに合わせて地域コードを選択します。
※ 日本国内向けに製造されたDVD-VIDEOを再生するときは、[2.西ﾖｰﾛｯﾊﾟ、日本、南ｱﾌﾘｶ(W)]を選択します。

② [適用(A)] をクリックします。

以上で地域(リージョン)コードの設定は完了です。

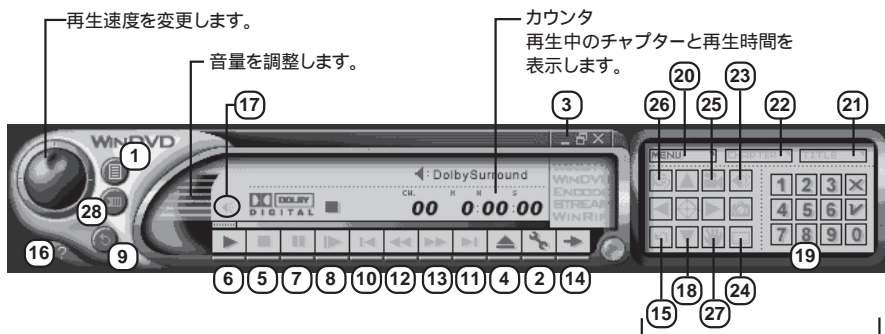
最初に設定した地域(リージョン)コードは上記の手順で変更できます。

⚠注意 変更できる回数は4回までです。5回以上は変更できません。

WinDVD の使いかた

WinDVDの基本的な操作方法を説明します。

メモ 詳しい操作方法はWinDVDのヘルプを参照してください。ヘルプは[スタート]－[プログラム(P)]－[InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)]－[InterVideo WinDVD ヘルプ]と選択すると、表示されます。

＜プレイヤー画面＞

(1) [ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ...]ボタン .... プレイリストウィンドウを表示します。

(2) [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ...]ボタン .... プロパティウィンドウを表示します。

(3) .... ウィンドウを最小化、最大化したり、閉じたりできます。

(4) [ｲｼﾞｪｸﾄ]ボタン .... DVDドライブのトレーを排出します。

(5) [停止]ボタン .... 再生を停止します。

(6) [再生]ボタン .... 再生を開始します。

(7) [ﾎﾟｰｽﾞ]ボタン .... 再生を一時停止します。

(8) [ｽﾃｯﾌﾟ再生]ボタン .... 一時停止中にクリックすると、1コマ進みます。

(9) [ﾘﾋﾟｰﾄ]ボタン .... 現在のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生します。

(10) [前のﾁｬﾌﾟﾀｰ]ボタン .... 前のチャプターにジャンプします。

(11) [次のﾁｬﾌﾟﾀｰ]ボタン .... 次のチャプターにジャンプします。

(12) [早戻し]ボタン .... 早戻しで再生します。

(13) [早送り]ボタン .... 早送りで再生します。

(14) [拡張ｺﾝﾄﾛｰﾗ]ボタン .... 拡張コントローラを開いて追加機能の操作画面を表示します。

次のページへ続く

(15) .... メニュー画面からビデオの再生を続行します。

(16) [ヘルプ] ボタン .... ヘルプを表示します。

(17) .... チェックすると、音声をミュート（消音）します。

(18) [矢印] キー .... メニューのコントロールなどナビゲーションに使用します。上下左右の矢印で、メニューを選択し、中央のボタンで確定します。
※メニューを直接クリックして操作することも可能です。

(19) [数字] キー .... 数字を選択する場合に使用します。再生中に数字を入力することでチャプターを直接選択することもできます。選択したい数字をクリックし、右端の矢印ボタンをクリックします。

(20) MENU .... 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのメニュー（ルートメニュー、オーディオメニュー、サブタイトルメニューなど）を表示します。表示したいメニューを選択してください。

(21) TITLE .... 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのタイトルを表示します。再生したいタイトルを選択してください。

(22) CHAPTER .... 再生中のDVDタイトルの全てのチャプターを表示します。現在再生中のチャプターにはチェックがついています。リストの中から再生したいチャプターを選択することもできます。

(23) .... 再生中のDVDタイトルがマルチオーディオをサポートしている場合、再生するオーディオを選択するメニューを開きます。リストの中から再生したいオーディオを選択してください。

(24) .... 再生中のDVDタイトルがサブタイトル（字幕表示）をサポートしている場合、サブタイトルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいサブタイトルを選択してください。

(25) .... 再生中のDVDタイトルがマルチアングルをサポートしている場合、アングルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいアングルを選択してください。

(26) .... カーソルで選択したエリアを拡大表示・再生します。拡大表示中に画面をクリックすると、元のサイズに戻ります。

(27) .... パン（移動）して表示する領域を変更します。

(28) .... ビデオタイトルごとにブックマーク（しおり）の位置を記録できます。好きなシーンや、途中で見るのをやめるときにブックマークを記録しておくと、次にそのタイトルを挿入したときに自動的にブックマークがロードされますので、好きな位置を選択して再生を再開することができます。

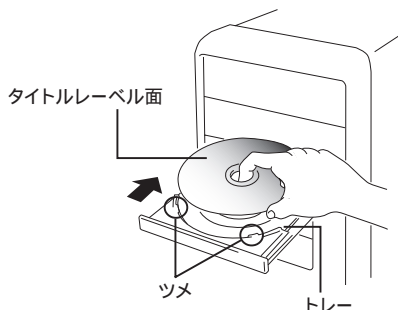
3 使いかた

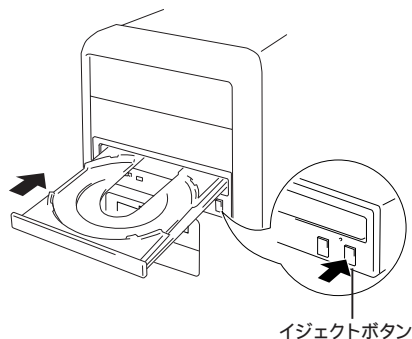
DVD ドライブの基本的な操作方法を説明しています。

使いかた

● メディアをセットする

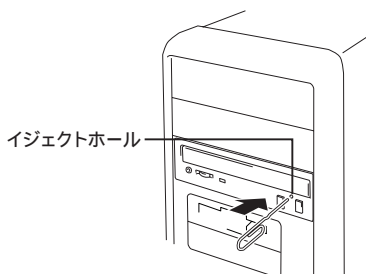
イジェクトボタンを押してトレーを出します。
タイトルレーベル面を上に向けて、トレーにセットします。
トレーを軽く押して元に戻します。

メモ　縦置き(垂直)にした状態でメディアをセットするときは、ツメにひっかかるようにメディアをセットします。

● メディアを取り出す

イジェクトボタンを押すと、トレーが排出されます。
メディアを取り出したら、トレーを軽く押して元に戻します。
WinDVDの操作でもトレーを排出できます。

●トレーが排出されないとき

停電などによって、メディアを入れたままの状態で電源が切れてしまうと、トレーが排出されなくなってしまいます。その場合は、イジェクトホールにゼムクリップを伸ばした物などを差し込んで、強制的にトレーを排出します。

⚠注意　この操作は、パソコン本体の電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はDVDドライブ内でメディアが回転しているため、強制的に排出すると、メディアを破損するおそれがあります。

4 付録

困ったときは

主なトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

DMA 転送が有効にならない（WindowsMe/98SE/98/95）

DMA転送を有効にする設定【P15「WindowsMe/98SE/98/95の設定」】をした後でパソコンを再起動すると、設定が元に戻ってしまう（DMA 転送が有効にならない）ことがあります。次の手順で再設定してください。

1. P15の手順 1 ～ 4 の操作を行います。
2. ［DM166D DVD-ROM］をクリックし、［削除(E)］をクリックします。
3. ［デバイス削除の確認］ウィンドウが表示されたら、［OK］をクリックします。
4. ［閉じる］をクリックし、パソコンを再起動します。
5. P15を参照し、DMA転送を有効にする設定を再度行ってください。

パソコンの電源スイッチを ON にしても電源が入らない

電源ケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、電源ケーブルがDVDドライブの電源コネクタに正しく接続されているか確認してください。【P11「取り付け方法」】

アクセスランプが点灯しない

メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P23「使いかた」】
インターフェースケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、インターフェースケーブルがDVDドライブのインターフェースコネクタに正しく接続されているか確認してください。【P11「取り付け方法」】

パソコンが起動しない

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている	フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

イジェクトボタンを押してもトレーが排出されない

パソコンの電源が入っていない	パソコンの電源スイッチがONになっているか、パソコンの電源ケーブルはACコンセントに正しく接続されているか確認してください。
トレーに何か引っかかっている	トレーを確認してください。
ドライブに電源ケーブルが接続されていない	ドライブに電源ケーブルを接続してください。【P11「取り付け方法」】

メディアが入らない

メディアがトレーに正しくセットされていない	メディアを正しくセットし直してください。【P23「使いかた」】
ドライブに電源ケーブルが接続されていない	電源ケーブルを接続してください。【P11「取り付け方法」】

DVD-ROM メディア、CD が使用できない

非対応のメディアを使用している	【P7「特長」】を参照して、使用可能なメディアの種類を確認してください。
正しいドライブにアクセスしていない	データを読み出すときは、CD-ROMドライブのアイコンを開いてください。

音楽 CD の音声が出力されない

メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P23「使いかた」】
メディアの不良	メディアに傷、汚れ、変形がないか確認してください。
付属のWinDVDで再生していない	音楽CDは付属のWinDVDで再生してください。WinDVD以外のデジタル再生に対応していないソフトで再生した場合、音声が聴こえません。デジタル再生に非対応のソフトで音声を出すには、別途オーディオケーブルを用意し、接続する必要があります。

ヘッドホンから音楽 CD が聴こえない

デジタル再生に設定している	デジタル再生中は、DVDドライブに接続したヘッドホンでは音楽を聴けません。ヘッドホンで聴くときは、プレイヤーのヘルプを参照してデジタル再生を無効にしてください。

DVD ドライブが認識されない（Windows95 再セットアップ時）

起動ディスクの内容を変更していない	DVDドライブを使用してWindows95を再セットアップするときは、起動ディスクの内容を変更する必要があります。 弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)から「ATAPI CD-R/RW,DVD-ROMドライブ用ドライバ」をダウンロードし、起動ディスクの内容を変更してください。

4 付録

WinDVDのインストール・アンインストールができない

全角ユーザー名でログインしている	半角ユーザー名（英数字）でログインして、WinDVDをインストール・アンインストールしてください。
Administrator権限を持つログイン名でログインしていない	WindowsXP/2000/NT4.0ではAdministratorでログインして、WinDVDをインストール・アンインストールしてください。

WinDVDを使用して、VideoCDのチャプター操作ができない

VideoCDによっては、WinDVDでチャプター操作できないことがあります。このようなVideoCDは、再生を続けると次のチャプターに移れます。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。その場合は、パソコンに標準搭載のドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様は、ソフトウェアメーカ（プレインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

Windows2000でWinDVD起動時に「wnaspi.dllが見つかりません」と表示される

Administoratorの権限を持たないアカウントでログオンしてWinDVDをインストールすると上記のメッセージが表示されます。Administoratorの権限を持つアカウントでインストールし直してからWinDVDを再インストールしてください。インストール後は必ずWindows2000を再起動してください。

リージョンコードを変更できなくなった

リージョンコードの変更可能回数は4回までです。5回以上変更したい場合は、弊社修理センターへ送付してください。有償にて対応します。【P20】

本製品を静かに使用したいときは

本製品付属の「DVDモード設定ユーティリティ」を使用すれば、読み出し速度を下げて静かに駆動します。DVD-VIDEOなどを鑑賞する際にお使いください。

⚠注意 「DVDモード設定ユーティリティ」は、DVDメディア用のユーティリティです。DVD以外のメディア(CDなど)には使用できません。

インストール手順

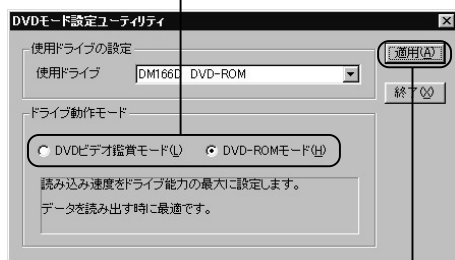
1. 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。
   「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「Easysetup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2. [DVDモード設定ユーティリティのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

3. 以降は、画面のメッセージに従ってインストールを行ってください。

メモ 「DVDモード設定ユーティリティ」をアンインストールしたいときは
[スタート]→[プログラム]→[DVDモード設定ユーティリティ]→[アンインストーラ]を選択してください。

使いかた

起動方法:[スタート]→[プログラム]→[DVDモード設定ユーティリティ]→[DVDモード設定ユーティリティ]を選択します。

①ドライブ動作モードを選択します。

・DVDビデオ鑑賞モード
読み込み速度を低速に設定してドライブ騒音を軽減します。DVDビデオ鑑賞時に最適です。

⚠注意 メディアを入れ替えた時は、自動的にDVD-ROMモードに戻ります。

・DVD-ROMモード
読み込み速度をドライブ能力の最大に設定します。データを読み出す時に最適です。

②[適用]をクリックします。

メモ 「DVDモード設定ユーティリティ」のヘルプを表示するには
[スタート]→[プログラム]→[DVDモード設定ユーティリティ]→[DVDモード設定ユーティリティヘルプ]を選択してください。

製品仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

項目		仕様
対応インターフェース		ATAPI
最大データ転送速度(*1)	サステンド	・DVD-ROM　9610～20200KB/sec（7～16倍速） ・CD-ROM　2625～6000KB/sec （17.5～40倍速）
	バーストDMA	33.3MB/sec（Ultra DMA Mode2） 16.6MB/sec（PIO Mode4,MultiWord DMA Mode2）
データバッファサイズ		512KB
平均アクセスタイム		・DVD-ROM　100msec ・CD-ROM　90msec
動作電圧		5V±5%　12V±10%
消費電力		平均：7.6W　最大：30.3W
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80%（結露無きこと）
重量		1kg
サイズ		146(W)×42(H)×200(D)mm（フロントベゼルを除く）
対応パソコン		IDEインターフェースおよび5インチベイを搭載する次のパソコン ・DOS/V機(OADG仕様)　・NEC PC98-NXシリーズ
対応OS		WindowsXP、WindowsMe(Millennium Edition)、Windows2000、Windows98SE(Second Edition)、Windows98、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)(*2)、WindowsNT4.0(Service Pack4以降)
リード対応メディア		7ページをご参照ください。

*1　DMA転送が使用できない機種の場合は、上記の転送速度は出ません。その場合の最大転送速度はお使いのパソコン環境によって異なります。

*2　本製品はWindows95（4.00.950/4.00.950a）では使用できません。Windows95のバージョンは次の手順で確認できます。
　① ［ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］ アイコンを右クリックします。
　② 表示されたメニューから ［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)］ をクリックします。
　③ ［ｼｽﾃﾑ:］ に Windows95 のバージョンが表示されます。

*3　ディスクが取り出し可能なもの。

*4　再生には、対応したソフトウェアが必要です。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■備品販売窓口

・インターネット .. http://buffalo.melcoinc.co.jp/bihin/index.html
　※ ホームページに記載の手順でお申し込みください。
・郵送 .... 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 備品販売窓口
　※ 希望する備品名、ご購入の製品名 (シリアルNoも必要)、送付先住所、氏名、連絡先をお書き添えください。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
　［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
　［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送り頂く際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

DVROM-16FB ユーザーズマニュアル

2001年1月8日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ　ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5326-3753

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※年末年始と日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください

- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 本製品の製品名とシリアルナンバー

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。

PY00-27167-DM10-01

1-01